

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	「三浦保」愛基金教育分野公募事業費							予算主管課		教育総務課				
	事 業 概 要	地域社会の良き創り手として貢献できるたくましい子どもたちの育成を図るため、教育振興等に係る活動を行う学校のグループ等の対象団体を公募の上、「三浦保」愛基金の運用益をもって、その活動に要する経費の一部を補助する。							始期		2025				
									終期						
	K P I	応募団体数													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	団体		目標値	団体		目標値	50 団体				
		実績値	団体		実績値	団体		実績値	60 団体		実績値	団体			
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	120 %			
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	11500 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	9884 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円				
							不用額	1616 千円		不用額	千円				
	7 年 度	要因分析	要因												
			総括												
見直し方向性		維持	7年度の目標達成率は120%と順調であったが、申請書の記載例を新たに追加するなど、学校やN P O団体等の申請書作成のハードルを下げることにより、更なる応募団体の増加に努める。（8年度より総合政策課へ移管）												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	エネルギー教育推進事業費							予算主管課		教育総務課			
	事 業 概 要	エネルギー教育について特色のある教育活動を実践している学校等に対し、環境整備などの支援を行う。							始期		2007			
									終期					
	K P I	当事業により、原子力・エネルギーについて理解が促進されたと回答する生徒の割合												
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %			
		実績値	%	実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%			
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%			
		コ ス ト		最終現計 予算額	10000 千円		最終現計 予算額	10000 千円		最終現計 予算額	10000 千円		最終現計 予算額	千円
	決算額			7926 千円		決算額	8564 千円		決算額	9039 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円			
							不用額	961 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度のKPI実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も事業の概要を踏まえると目標達成すると思われることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	愛媛県高等学校定時制通信制教育振興会補助金								予算主管課	高校教育課
	事 業 概 要	高等学校定時制通信制教育の振興に要する経費を補助する。								始期	1963
										終期	
	K P I	定時制通信制課程における全国生活体験発表大会、各種競技全国大会の参加割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	3.9 %	目標値	4 %	目標値	4.1 %	目標値	4.2 %
		実績値	3.8 %	実績値	4.4 %	実績値	4.7 %	実績値	3.4 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	112.82 %	達成率	117.5 %	達成率	82.9 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	200 千円	決算額	200 千円	決算額	200 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因 全国参加人数は例年と同等の数値となったが、令和7年度については、私立高校の活躍が目立ち、県立学校生徒の出場者数が減少したため、目標を達成することができなかった。									
		総括									
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPIの実績は想定を下回る結果となったが、現状のニーズを踏まえると、令和8年度以降は取り組みを改善させ、KPIは目標を達成すると考えられることから、令和7年度の執行方法や令和8年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	愛媛県産業教育振興会補助金						予算主管課		高校教育課						
	事 業 概 要	高等学校産業教育の振興に要する経費を補助する。						始期		1966						
								終期								
	K P I	産業教育関係の競技大会、コンクール等の全国大会の入賞件数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	39 件		目標値	41 件		目標値	43 件		目標値	45 件		
		実績値	36 件		実績値	39 件		実績値	42 件		実績値	43 件		実績値	件	
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	102.4 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	200 千円		最終現計 予算額	200 千円		最終現計 予算額	200 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	200 千円		決算額	200 千円		決算額	200 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円					
							不用額	千円		不用額	千円					

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は、ほぼ想定どおりの成果が出ており、現状を踏まえると8年度以降も、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	えひめ高等学校全国募集促進事業費								予算主管課		高校教育課			
	事 業 概 要	地元の市町と強固な信頼関係を築き上げ、市町から「地域みらい留学」参画費の全額補助、公営塾や寮の設置といった支援を受けている高等学校の全国募集活動の強化を図る。								始期		2021			
										終期		2026			
	K P I	全国募集による入学生徒数の全国順位													
		KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	1 位		目標値	1 位		目標値	1 位				
		実績値	2 位		実績値	2 位		実績値	2 位		実績値	位			
		ストック /フロー	フロー		達成率	50 %		達成率	50 %		達成率	50 %			
		コ ス ト		最終現計 予算額	19954 千円		最終現計 予算額	22692 千円		最終現計 予算額	25807 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	15857 千円		決算額	19377 千円		決算額	21864 千円		決算額	千円	
					繰越額	千円		繰越額	千円						
									不用額	3943 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因 バスツアーやSNS広告の拡充を図ることにより、本県の全国募集による県外からの入学者数は順調に増加（R5：88人→R6：112人→R7：117人→R8：122人）したものの、KPI未達成となった。 本事業開始当初は、第1位の県と本県の差が181人と大きく開いていたが、令和8年度にはその差が40人まで縮小しており、一定の成果が見られる。一方で、人口減少対策の一環として全国募集に取り組む学校が各県で増加し、生徒獲得競争は一層激化していることから、本事業について、引き続き着実に推進していく必要がある。 総括													
	見直し方向性	維持	KPIは未達成ではあるものの、全国募集による県外からの入学者数は順調に増加（R5：88人→R6：112人→R7：117人→R8：122人）しているため、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	高校生おもしろ科学コンテスト事業費								予算主管課		高校教育課				
	事 業 概 要	数学・理科等に関する科学コンテストを実施することにより、科学的な見方や考え方を養う教育を実践する。								始期		2014				
										終期						
	K P I	コンテスト参加を通して、将来の自分のために、理科、数学等を勉強することが重要だと思った生徒の割合														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	78 %		目標値	82 %		目標値	86 %		目標値	90 %		
		実績値	75.4 %		実績値	78.7 %		実績値	78.5 %		実績値	74.7 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	100.9 %		達成率	95.7 %		達成率	86.9 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	1297 千円		最終現計 予算額	1371 千円		最終現計 予算額	1384 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	930 千円		決算額	972 千円		決算額	1031 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円					
							不用額	353 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因 昨年度と同程度の数値であるが、問題の難易が学習意欲に影響したことが要因と考えられる。														
		総括														
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は、6年度とほぼ同程度の成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	外国語指導助手招致事業費							予算主管課		高校教育課					
	事 業 概 要	国の協力を得て外国語指導助手を招致し、高等学校等における語学指導を行うとともに、地域レベルでの国際化を促進する。							始期		1987					
									終期							
	K P I	CEFR A2レベル（英検準 2 級）相当以上の英語力を有する高校 3 年生の割合														
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度						
		R 4 年 度		目標値	52 %		目標値	54 %		目標値	56 %		目標値	58 %		
		実績値	49 %		実績値	51.2 %		実績値	53.4 %		実績値	54 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	98.46 %		達成率	98.9 %		達成率	96.4 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	157301 千円		最終現計 予算額	210410 千円		最終現計 予算額	252640 千円		最終現計 予算額	千円		
	決算額			142472 千円		決算額	196495 千円		決算額	234651 千円		決算額	千円			
					繰越額	千円		繰越額	千円							
					不用額	17989 千円		不用額	千円							
7 年 度	要因分析	要因 授業において、英語担当教師による英語の使用状況が50%以上に達している学校の割合が全国平均に達しておらず、高校生の英語での発話に対する抵抗感が生じたことが原因と思われる。														
		総括														
	見直し方向性	維持	文部科学省が令和 9 年度におけるEFR A2レベル（英検準 2 級）相当以上の英語力を有する高校 3 年生の割合を60%とすることを目標としており、本県もそれに合わせ、数値の向上を図る必要がある。引き続き、外国語指導助手の活用により、技能統合型の言語活動を充実させ、生徒の英語力の向上を図る必要があるため、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	えひめ高等学校英語教育推進事業費						予算主管課		高校教育課						
	事 業 概 要	研究協議等の実施により、英語授業の改善や英語担当教員の指導力向上を図るとともに、ディベート・コンテストを通して、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。						始期		2014						
								終期								
	K P I	授業時間の半分以上、生徒による言語活動を行った学校の割合														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	62.5 %		目標値	65 %		目標値	67.5 %		目標値	70 %		
		実績値	46.2 %		実績値	48 %		実績値	54.9 %		実績値	%		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	76.8 %		達成率	84.5 %		達成率	%		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	6517 千円		最終現計 予算額	9023 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	千円		決算額	1632 千円		決算額	2533 千円		決算額	千円	
					繰越額	千円		繰越額	千円							
									不用額	6490 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因 令和7年度から文部科学省の英語教育実施状況調査において、「授業時間の半分以上、生徒による言語活動を行った学校の割合」が削除されたため、数値の算出が不可能である。令和7年度においては、本事業の計画通り、ディベートコンテスト、ディベート指導研究委員会の実施等の行事を実施しており、生徒の言語活動の活発化に寄与したと考えられる。														
		総括														
	見直し方向性	維持	令和7年度実績については文部科学省の調査項目が変更となり、数値は未確定であるが、本県では、高い英語力を有する生徒を引き続き育成していくことが必要であり、本事業を維持していく必要があると考えられる。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	みらいの学びプログラミング教育推進事業費								予算主管課	高校教育課
	事 業 概 要	生徒のプログラミングスキルや学習意欲の更なる向上を図るため、コンテスト等への参加に向けた支援体制を拡充するとともに、教員向けのセミナーの実施や教育用アプリの活用により、指導体制の強化を図り、愛媛の将来を担うデジタル人材育成を一層促進する。								始期	2024
										終期	2026
	K P I	②与えられた課題に対して プログラムを作成・実行できる生徒の割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	40 %	目標値	60 %	目標値	80 %	目標値	100 %
		実績値	35.4 %	実績値	43.5 %	実績値	51.6 %	実績値	55 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	108.8 %	達成率	86 %	達成率	68.8 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計	千円	最終現計	48421 千円	最終現計	47520 千円	最終現計	千円
	予算額				予算額		予算額		予算額		
	決算額			千円	決算額	47940 千円	決算額	47308 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
				不用額	212 千円	不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因 事業全体を通して、生徒のプログラミングスキルの向上にはつながっているが、生徒の多くがプログラミングで課題を解決しているという実感を持っていないと思われる。	
		総括	
	見直し方向性	改善	【①全国規模のプログラミング等のコンテスト等での入賞件数】 今年度もプログラミングサマースクール及びコンテストを引き続き開催し、県内の全ての高校生が得意を生かし、互いを高め合えるよう、令和8年度は場所や参加者等、開催環境の改善を行う。 【②与えられた課題に対して プログラムを作成・実行できる生徒の割合】 今年度も引き続き、学校に対して本事業の周知を積極的に行うとともに、令和8年度は開催時期等を改善することで、多くの生徒が参加できるよう取り組み、調査時期等についても検討を行う。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	みらいの学びプログラミング教育推進事業費							予算主管課	高校教育課	
	事 業 概 要	生徒のプログラミングスキルや学習意欲の更なる向上を図るため、コンテスト等への参加に向けた支援体制を拡充するとともに、教員向けのセミナーの実施や教育用アプリの活用により、指導体制の強化を図り、愛媛の将来を担うデジタル人材育成を一層促進する。							始期	2024	
									終期	2026	
	K P I	①全国規模のプログラミング等のコンテスト等での入賞件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	2 件	目標値	3 件	目標値	4 件	目標値	5 件
		実績値	1 件	実績値	2 件	実績値	2 件	実績値	2 件	実績値	件
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	66.7 %	達成率	50 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計	千円	最終現計	48421 千円	最終現計	47520 千円	最終現計	千円
				予算額		予算額		予算額		予算額	
	決算額			千円	決算額	47940 千円	決算額	47308 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
				不用額	212 千円	不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因 プログラミングサマースクールの参加生徒数の増加（R6：95名、R7：119名）、コンテストの出品数の増加（R6：46作品、R7：53作品）につなげたものの、全国レベルの入賞数につながらなかった。高校生のプログラミングスキルの向上にはつながったが、全国の上位層に入り込めるだけのレベルに到達できる生徒を育成できなかった。	
		総括	
	見直し方向性	改善	【①全国規模のプログラミング等のコンテスト等での入賞件数】 今年度もプログラミングサマースクール及びコンテストを引き続き開催し、県内の全ての高校生が得意を生かし、互いを高め合えるよう、令和8年度は場所や参加者等、開催環境の改善を行う。 【②与えられた課題に対して プログラムを作成・実行できる生徒の割合】 今年度も引き続き、学校に対して本事業の周知を積極的に行うとともに、令和8年度は開催時期等を改善することで、多くの生徒が参加できるよう取り組み、調査時期等についても検討を行う。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初

事 項	県立学校振興計画推進事業費								予算主管課		高校教育課				
事 業 概 要	令和5年3月に策定した県立学校振興計画の具体化に向け、「地域に愛され、誇れる学校づくり」を着実に推進するため、統合後の学校の在り方を検討するとともに、多彩で魅力的な選択肢の提供を実現するなど、振興計画の3本柱の実現に向けた取組みを実施する。								始期		2023				
									終期						
K P I	県立学校振興計画の実現に向けた取組に対して有意義であると感じている生徒の割合														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	86.4 %		目標値	87 %		目標値	88 %		目標値	89 %		
	実績値	%		実績値	86.4 %		実績値	87.9 %		実績値	89.6 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	100.47 %		達成率	101 %		達成率	101.8 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	33271 千円		最終現計 予算額	44018 千円		最終現計 予算額	40154 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	24050 千円		決算額	39590 千円		決算額	37918 千円		決算額	千円	
								繰越額	千円		繰越額	千円			
								不用額	2236 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性		維持		7年度のKPI実績は、想定からやや上回る成果が出ており、8年度以降も、現在の取組状況を踏まえると目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12

当初

事 項	地元で活躍するグローバル人材育成事業費								予算主管課		高校教育課			
事 業 概 要	テンブル大学ジャパンキャンパスとの連携や留学等を通して、体験的かつ高度な学びの機会を提供し、生徒の英語力と英語担当教師の授業力の向上を図るとともに、小・中・高校生等を対象に留学の報告や県内企業による情報提供等を実施し、留学への機運を醸成する。								始期		2025			
									終期		2034			
K P I	英検 2 級相当以上の英語力を有する高校 3 年生の割合													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	28 %				
	実績値	%		実績値	19.1 %		実績値	23.2 %		実績値	23.1 %			
	実績値	%		実績値	19.1 %		実績値	23.2 %		実績値	23.1 %			
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	82.5 %			
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	50761 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	千円		決算額	千円		決算額	47375 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円						
								不用額	3386 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析		要因 令和 7 年度から事業を開始し、かつ事業参加者は 1、2 年生が多かったため、目標値の達成には至らなかった。											
			総括											
	見直し方向性		維持		生徒の英語力向上に資する取り組みを行うことで、KPIは目標達成と考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13

当初

事 項	理科教育等設備充実費										予算主管課	教育総務課
事 業 概 要	高等学校等の理科教育に関する設備を整備する。										始期	1982
											終期	
K P I	【購入予定】理科教育設備の整備率											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
	実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	7744 千円	最終現計 予算額	7744 千円	最終現計 予算額	7744 千円	最終現計 予算額	千円		
決算額			6920 千円	決算額	7487 千円	決算額	6625 千円	決算額	千円			
			繰越額	千円	繰越額	千円						
				不用額	1119 千円	不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの結果が出ており、引き続き適切な執行を行うことにより目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14

当初

事 項	県立学校振興計画校舎等整備事業費										予算主管課		教育総務課		
事 業 概 要	令和5年3月に策定した県立学校振興計画に基づき、新たに設置される学科・コース等に対応できるよう、計画の実現に向けて、必要な施設・設備の整備を行う。										始期		2023		
											終期				
K P I	県立学校振興計画校の整備完了率														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	0 %		目標値	21.4 %		目標値	76.5 %		目標値	88.2 %		
	実績値	%		実績値	0 %		実績値	21.4 %		実績値	76.5 %		実績値	%	
	ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	41255 千円		最終現計 予算額	1258425 千円		最終現計 予算額	3559402 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	29600 千円		決算額	782168 千円		決算額	2961751 千円		決算額	千円	
							繰越額	596964 千円		繰越額	千円				
							不用額	687 千円		不用額	千円				
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性		維持		7年度の目標値を達成しており、維持が適当である。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

15

当初

事 項	水産実習船建造事業費										予算主管課		教育総務課		
事 業 概 要	宇和島水産高校の水産実習船「えひめ丸」について、老朽化による船体の傷みが進行しているため、実習の安全性を確保し、船舶職員（海技士）を養成するための役割を果たせるよう代船を建造する。										始期		2024		
											終期		2027		
K P I	建造進捗率														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	30 %		目標値	80 %		
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	30 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	18822 千円		最終現計 予算額	1164355 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				千円		決算額	18802 千円		決算額	950952 千円		決算額	千円		
						繰越額	3272 千円		繰越額	千円					
						不用額	210131 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性		維持		当該年度の目標値を達成しており、維持する。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

16

当初

事 項	産業教育設備充実費										予算主管課	教育総務課			
事 業 概 要	高等学校職業学科の産業教育に関する設備を整備する。										始期	1981			
											終期				
K P I	【購入予定】産業教育教育設備の整備率														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	0 %		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %		
	実績値	%		実績値	0 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	31684 千円		最終現計 予算額	27272 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	31312 千円		決算額	27079 千円		決算額	千円	
									繰越額	千円		繰越額	千円		
不用額									193 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度以降も整備計画を踏まえると、KPIは目標達成 すると考えられることから、8年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

17

当初

事 項	産業教育 I C T 機器整備事業費										予算主管課	教育総務課			
事 業 概 要	職業学科において実社会で通用するICT技術を習得し、卒業時の技術と就職後に必要な技術のギャップを低減するため、最新のICT機器を整備する。										始期	2015			
											終期				
K P I	職業学科からの就職者のうち、関連産業就職者割合														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	75 %		目標値	76 %		目標値	77 %		目標値	78 %		
	実績値	74 %		実績値	%		実績値	76.7 %		実績値	70.4 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	100.9 %		達成率	91.4 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	96674 千円		最終現計 予算額	135059 千円		最終現計 予算額	169422 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	96664 千円		決算額	135052 千円		決算額	169224 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
										不用額	198 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因 概ね目標は達成しているものの、特定の学科において活用に偏りがある可能性がある。													
		総括													
	見直し方向性	維持	7年度の実績から期待された成果は出ているものと推察、加えて8年度中に一部の学校の産業用端末の更新も行う予定であり、KPIは目標値に近い成果が期待できることため、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

18

当初,2
月補正

事 項	県立学校 I C T 活用教育環境整備費										予算主管課	教育総務課
事 業 概 要	「主体的・対話的で深い学び」を推進し、生徒の情報活用能力を育成するため、県立学校のICT環境を整備する。										始期	2019
											終期	
K P I	1 人 1 台端末を授業等で「ほぼ毎日」活用した生徒の割合											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%	目標値	%	目標値	80 %	目標値	100 %		
	実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	76.4 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	95.5 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	107300 千円	最終現計 予算額	118641 千円	最終現計 予算額	1742765 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	107130 千円	決算額	118128 千円	決算額	1739083 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円					
								不用額	3682 千円	不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因 概ね目標は達成しているものの、WiFi環境に課題がある可能性や、特定の教科・学年・時期等において活用に偏りがある可能性がある。										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

19

当初,2
月補正

事 項	デジタル化対応教育設備整備費								予算主管課		教育総務課			
事 業 概 要	情報、数学等の履修を推進するとともに、ICTを活用した文理横断的、探究的な学びを強化するため、必要な環境整備を図る。								始期		2024			
									終期		2028			
K P I	DXハイスクール指定校におけるICT機器整備進捗率（単年度）													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	100 %		目標値	100 %				
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	%			
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	%			
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円			
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円			
				繰越額	千円		繰越額	千円						
								不用額	2201 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析		要因											
			総括											
	見直し方向性		維持		7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度も同様にKPIは目標達成と考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

20

当初,2
月補正

事 項	県立学校 I C T 活用教育環境整備費										予算主管課	教育総務課			
事 業 概 要	「主体的・対話的で深い学び」を推進し、生徒の情報活用能力を育成するため、県立学 校のICT環境を整備する。										始期				
											終期				
K P I	1 人 1 台端末を授業等で「ほぼ毎日」活用した生徒の割合														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	80 %		目標値	100 %		
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	76.4 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	95.5 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	135878 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	134596 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
不用額										1282 千円		不用額	千円		

7 年 度	要因分析	要因 概ね目標は達成しているものの、WiFi環境に課題がある可能性や、特定の教科・学年・時期等において活用に偏りがある可 能性がある。									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目 標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。